

TBS VINTAGE CLASSICS

＜サドヤ～本格日本ワインのパイオニア～＞

甲府の老舗酒屋「佐渡屋」の6代目、今井精三(1885-1949)は、外国ワインの豊かで深い味わいに魅せられ1917年「サドヤ醸造場」を設立しました。100年程の昔です。その頃は、本格ワインの酸味やタンニンが一般の口に合わず、砂糖を加えた低価格の甘口ワインが全盛でした。しかし、今井精三は、「日本で日本人の食に合う本格ワインを作る」との信念を持ち、甲府市内に自家農園を開墾しました。そして、1939年、甲府生まれのカベルネ・ソーヴィニヨンから日本で最初の本格ワインを誕生させました。

＜ワインと戦争＞

甲府駅前から歩いて5分のところに美しいワイナリーがあります。クリーム色の漆喰にレッドブラウンの瓦屋根。やさしい佇まいは、南仏の景色です。併設のレストランでは、家族や友人たちが、本格ワインと料理を楽しんでいます。初代今井が望んだ姿です。70年前、このワイナリーは、B29の空襲により焼け落ちました。しかし、敗戦の翌年、奇跡のような好天が続き、サドヤ農場では夢のような実りがありました。サドヤは、平和とともに復活しました。

＜ワインと音楽＞

2015年、サドヤ4代目今井裕景は、かつて火の海となった地下のセラーに佇みひとりCDを聞きました。ひんやりとしてちょっと湿った空気と葡萄の馥郁たる香りの中で、「平和の福音」ともいうべき音楽を響かせたのです。「パブロ・カザルスと平井丈一郎の特別演奏会」でした。(ユニバーサル TYGE-60021)
1961年日比谷公会堂で録音された貴重な音楽です。カザルスは、生涯音楽を通じて世界平和を訴え続けた20世紀の巨匠です。平井丈一郎は、その唯一人の愛弟子です。音楽は、貯蔵庫のワインと空間によく響きあい美しいハーモニーを奏でました。

＜平和への祈りを込めて＞

湾岸戦争の翌1992年、サドヤ農場は、豊饒の実りに沸きました。大戦後の翌年のように。雨が少なく朝昼の温度差がある格好の気候でした。豊かなコクと香味成分の強い極上のワインが生まれました。今井裕景は、戦後70年の今年、大ヴィンテージイヤーのワインを特別に醸出し、平和を願う音楽と組み合わせTBS VINTAGE CLASSICS ワインを作りました。

容量 750ml 酸化防止剤(亜硫酸塩) アルコール分 12度
お酒は二十歳を過ぎてから・お酒は適量を・キャップの切り口で指などけがをしないようご注意ください。瓶の中に透明な結晶や澱が発生する場合があります。これらを瓶の底に沈めてグラスに入らないようにしてワインをお楽しみください。※結晶は葡萄に含まれる酸の主成分である酒石酸、澱は色素などのかたまりです。

(株)サドヤ 山梨県甲府市北口3-3-24 果実酒



1992



Chateau Brillant



TBS VINTAGE CLASSICS

Takeichiro
Hirai
Pablo
Casals

Hirai
Public Hall 1961



Peace, Peace, Peace

至極の音楽を理想と仰ぐ熟成ワイン

SADOYA ET C^{IE}

甲府サドヤ農場産 カベルネ・ソーヴィニヨン
株式会社サドヤ製造